

みんなのレストラン

住人構成



老夫婦 宿泊客

あるシェフが、山形県の魅力があまり知られていないと考えていました。山形県への観光客が他県よりも少なく、過疎化も進んでいるからです。このままではこの地域は荒れてしまっています。シェフは素晴らしい自然や食文化、人々のいるこの地域をみんなに知ってほしい、愛してほしいと願っていました。定年を迎えたシェフは、山形の魅力を伝えるため、米沢市に畑とゲストルームを持つ小さな「みんなのレストラン」を建てました。そこでは、山形県南部に広がる置戸伝統野菜を敷地内の畑で栽培し、収穫した野菜を使った料理を食べることができます。地域の人々に数万人が伝統野菜をこの畑で育てていきます。代わりにシェフはおいしい料理を振舞い、教えます。また、ゲストルームには農客体験をしたいと考える若者や自然に触れたいと考えている観光客の人が訪れます。みんなのレストランは、農客体験や料理体験といった体験を通して人と人、自然や文化と結び、山形県の魅力を知るすることができます。今日も美しい絶えぬこのレストランを拠点に山形の魅力を多くの人々に知ってもらうことが美しいこの地域を守っていくことができます。

山形県の抱える問題

山形県への観光客は、他県に比べて多くありません。その原因は、魅力があまり知られていないことにあると思います。観光客は、魅力を感じなければこへ行く理由を持たず。何も知らない人たちの一部からは「何も無いところじゃないか。」「つまらない場所だ。」などといった批判的な口コミや固定観念が生まれています。それを見て「何も無いのなか。」と願った解釈をしてみましょう。みんなも多くなるはず。

山形には、他県に負けないような魅力がたくさんあります。場所やイベントから料理まで、魅力があるのに、知られていないために観光客が増えません。このままではとてももったいないです。山形県の魅力を知ってもらい、観光客が今以上に増えてくれたらと思います。



山形県

置戸地方

土地について

このレストランの建つ敷地には、山形県米沢市鎮山矢子町にある耕作放棄地を利用しています。山形県では、近年の農業従業者の減少により、このような土地が増え、耕作放棄地を農地として再利用する際には、国や県からの補助金ももらえ、農業を始めやすくなっています。米沢市の住民は、皆人が良く、新しく店を構えたシェフにも親しくしてくれます。

19 / 43

JTB総合研究所による、2012年～年間の都道府県別観光入込客数の調査の結果、43都道府県中、19位という結果で、決して高くはない順位となりました。

山形県の魅力

・歴史



上杉山、直江藩城のゆかりの地で、上杉神社、不門院、上杉家廟所、林泉寺、宮前古蹟、仙伝の杜などがある。鎌倉時代は長井氏の領地。室町時代初期から伊達氏の領地となり、戦国時代には伊達氏の本拠地となる。「猿蓑」こと伊達政宗は米沢城で生まれ、若出山へ移転するまで米沢を支配した。江戸時代から明治の政庁置置場までは上杉氏の城下町となり、今もなお古い城下町の面影を残す。

・文化



米沢の街は人情が厚く思いやりがあり、近所とのコミュニケーションが盛ん。両山間に展開しないほどの治安の良さ。千歳川に展開する「米沢上杉祭り」や「上杉町花まつり」などがある。

その他にも、「堂会の大祭り」「東北六火大会」「保良羽衣の年籠り祭り」などを実施している。

・自然

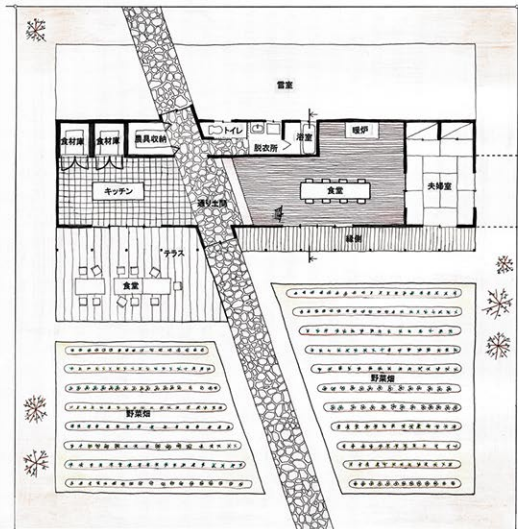


天宮山高原から西吾妻山のトロッパスが美しい。山頂付近に広がる高層草原では、美しい高山植物を見ることができ。加賀、月山、鳥海、蔵王や安達太良、磐梯など、日本百名山の望望も絶大。米沢には4つのスキー場があり、(天宮山スキー場、米沢スキー場、小野川スキー場、菓子園スキー場) 真冬のザンパは100%パウダースノー。観光からキャンプまでの幅広い期間、スキーやスノーボードを楽しめる。

・食

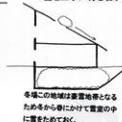


置戸伝統野菜 山形おきたま伝統野菜というネーミングは、置戸の歴史と食文化を伝えることをコンセプトに認定野菜の認定を経て決定しました。置戸地域で戦後昭和20年以前から栽培されていた在来種の伝統野菜等のほか、きこや山菜等の特産品利用 置戸地域の歴史と食文化を伝えるもの一定の生産量や生産者組織があり、今後生産の拡大が図れるもの



配置図 1階平面図 Scale:1:100

●雪と上手につき合う

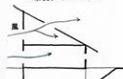


冬場この地域は雪国地帯となるため雪から暑にかけて食堂の中に雪をためておく。

●環境ダイアグラム



暑から夏にかけて食堂の冷気で涼しくなる。



夏に屋根にある雪を溶けることで空気の流れを発生させる。



冬は南側から暖かい日差しを取り込む。



2階平面図 Scale:1:100

このロフトは、宿泊室として遠方から来たお客さんが利用する。この宿泊室を通して、お客さんがこの土地のこじに興味を持ち地域の交流につなげていく。



●みんなの畑



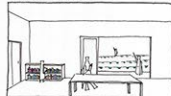
みんなで作作業をすることで、一体感があがる。

●みんなの雪



雪を有効に活用し、夏を快適に過ごす

●みんなの食堂(内)



家の中の食堂からも作業をしている人が見える

●みんなの食堂(外)

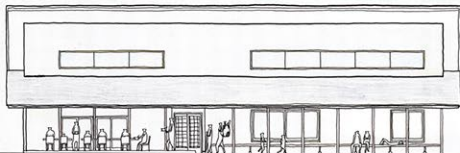


テラスの食堂では緑や景色を見ながら食事する

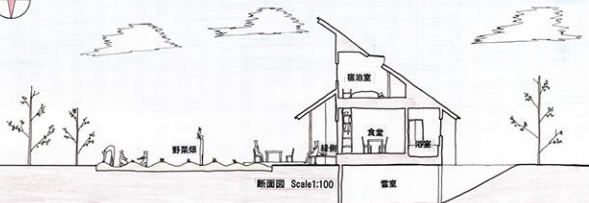
●みんなのキッチン



キッチンではお夫婦だけでなく、お客さんも一緒に料理をする



立面図 Scale:1:100



断面図 Scale:1:100